

区民により添うやさしい中野

活動レポート 7号

令和7年(2025年)夏号

発行：中野区議会自由民主党議員団・東京都中野区中野四丁目11番19号10階

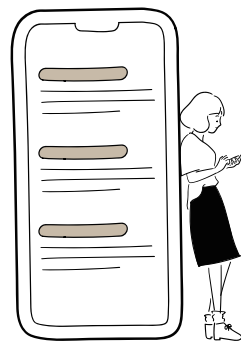
ごあいさつ

日頃より議員活動にご理解いただき誠にありがとうございます。第2回定例会では、地域防災力向上と中野区の広報について質疑させていただきました。防災対策、子育て支援、福祉サービスの充実をはじめ、誰もが安心して暮らせる地域を目指し、皆様とともに歩みを進めてまいります。引き続き、ご意見やご提案をいただきながら、より良い地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

中野区の広報について

中野区では、防犯・選挙啓発・医療支援など多岐にわたる情報発信が行われていますが、必要な情報が必要な人に届く仕組みの改善が求められます。青色灯防犯パトロールカーや選挙のラッピング啓発カーの運行は一定の効果을上げておりますので、がん征圧月間には乳がん以外の検診啓発カー運行も検討すべきです。児童館の広報においては、SNSや動画による施設紹介、保護者向けの情報の充実が有効であり、近隣の幼稚園や保育園など関係機関との連携強化も必要です。中野区公式LINEは情報検索機能が不十分であり、中野区公式HPで導入しているような、AIチャットボットの導入による利便性向上が望まれます。また、中野区公式HPのトップ画面は掲載情報の偏りや構造に課題があり、他自治体のようにスライド表示を導入するなど改善が必要です。デジタルとアナログの広報手段を連携させ、情報の一貫性を高めることも重要です。行政資料についても、専門的な委員会資料をその

まま掲載するのではなく、区民が理解しやすい形で情報発信する工夫が求められます。より分かりやすく、アクセスしやすい情報提供体制の確立が、区民生活の質の向上につながると考えます。区の回答としては、前向きな答弁であり、区のHPでは既にスライド表示が実施されています。今後も、必要な情報がしっかりと必要な区民に届くよう区に訴えて参ります。



アナログの広報手段を連携させ、情報の一貫性を高めることも重要です。行政資料についても、専門的な委員会資料をその



地域防災力向上について

東京都では、今後30年以内に約70%の確率で首都直下地震が発生すると予測されており、地域防災力の向上が喫緊の課題です。消防団は地域防災の要ですが、定数500名に対して396名と充足率は79.2%にとどまっており、モチベーション向上や人員確保のためには、実動的な訓練の機会や強化が必要です。旧中野区役所低層棟の解体時には自衛隊による訓練が実施されましたが、高層棟の解体に際し、消防団・地域防災会・関係団体が連携した訓練を実施することで、実践力・連携力の向上が期待されます。将来的には救助犬・ドローンを活用した訓練も段階的に導入すべきと考えます。また、今後区の所有となる予定の中野サンプラザを活用した訓練も検討すべきです。さらに、小中学校施設整備などによる区有施設解体



時に、実動訓練を標準化すれば、防災啓発や区民の意識向上に繋がります。障害者や認知症の方の参加促進、地域団体との連携による子どもの安全確保、地域間の訓練成果の共有といった多層的な取り組みが、持続可能な防災体制構築に寄与すると考えます。区の回答としましては、何れも前向きに検討するとのことでした。今後も、区が先導し、持続可能な防災力強化に取り組んでいくよう訴えて参ります。



近況報告

駅頭活動の様子

▼ 中野駅北口にて活動の様子



▲ 東中野駅西口にて朝のご挨拶

東中野駅にて活動の様子▶



視察の様子

一般質問



▲ 初めて台北市中山区へ視察に行きました▶



◀ 大阪万博視察



自民党
山内あきひろ

プロフィール

昭和53年(1978年)10月31日 中野区生まれ
宝仙学園幼稚園、中野区立立谷戸小学校、中野区立第三中学校(現 中野東中学校) 関東第一高等学校
10代の頃より芸能事務所に所属。俳優としてCM、舞台、映画、ドラマ等で活躍
認知症祖父の在宅介護・子育てのダブルケア経験者 認知症サポーター
所属委員会/子ども文教委員会(副委員長)、中野駅周辺整備・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会

WebSite

